

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	卒業研究		授業コード	C109920
担当教員名	杉浦 嘉雄		科目ナンバリングコード	
配当学年	4	開講期	通年(前期・後期)	
必修・選択区分	建築コース 必修 インテリアデザインコース 必修 環境・地域創生コース 必修	単位数	6	
履修上の注意または履修条件	原則として、杉浦研究室に配属された学生のみ履修することができます。さらに詳しくは、研究ゼミナール時間内に、各研究室の選択に関する情報も含め、説明します。			
受講心得	大学での学習の集大成です。人生の節目となる有意義な研究を期待しています。			
教科書	適宜、参考図書を紹介します。			
参考文献及び指定図書	優良図書を随時紹介します。			
関連科目	それぞれの専門分野に関連する全科目			

授業の目的	卒業研究着手条件を満足した4年生は、研究室を決定した後、卒業研究に着手します。本科目では、各研究室の卒業研究生となった学生各人が、大学専門教育の総仕上げとして専門分野における研究テーマに挑戦し、1年間かけて取り組んだ成果を卒業論文としてまとめ、提出します。研究テーマは、選択した各専門分野において、技術上の問題の解明、予測、対策及び新しい方法の提案・開発等です。卒業研究では、各自の研究テーマに対して問題点を発見する力、実験・調査・分析などの手法、論文のとりまとめ方、プレゼンテーション能力を身につけ、卒業後、社会人あるいは大学院生として活躍できるようになることを目標とします。
授業の概要	本科目の授業は、選択した研究室の担当教員の指導のもとで行われます。研究の内容は、実験、実習、調査、計画、計算及び設計と多岐にわたります。研究テーマは担当教員の指導により決定されます。また、研究の進め方は研究テーマの内容により個人研究またはグループ研究として行われます。卒業研究生は、与えられた研究テーマに関して、担当教員の指導のもとに研究の実施計画を立てて実行しては検討を繰り返し、1年間かけて目標とした研究成果の達成に努めます。最終的には研究成果を論文にまとめて担当教員に提出し、審査を受けます。審査は口頭発表及び試問等により行われます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ガイダンス、研究テーマの紹介 所属する研究室でこれから卒業研究として取り組んでいく内容について話し合います。	配付資料演習課題・レポートの提出
第2週：研究テーマの選定 各自の具体的な取り組みについて考え、選定します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第3週：既往の研究の調査[レビュー作業] それぞれの分野におけるこれまでの著書、論文等報告、インターネット上の公開等について調査します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第4週：研究計画の策定 これからどのような取り組みをしていくのか、計画を立てます。	配付資料演習課題・レポートの提出
第5週：研究対象の選定 研究テーマに沿って、具体的にどの範囲の何について研究するのかを決めます。	配付資料演習課題・レポートの提出

第6週：研究方法の決定 研究対象をどのような方法で調査分析していくのかを立案します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第7週：研究準備 必要となる備品、道具などを準備します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第8週：調査対象の準備 研究対象を調査するための準備をします。 配	配付資料演習課題・レポートの提出
第9週：調査対象の確定 調査や研究の詳細を詰めていきます。	配付資料演習課題・レポートの提出
第10週：プレ調査の準備 事前調査を実施します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第11週：プレ調査 事前調査を実施します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第12週：プレ調査結果の分析 調査結果をとりまとめ、分析します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第13週：プレ調査結果の考察 分析結果について考察します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第14週：プレ調査結果の検証 考察結果について検証します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第15週：前半のまとめ 前期の取り組みを総括し、課題と問題点を明らかにします。	配付資料演習課題・レポートの提出
第16週：本調査の準備 プレ調査を発展させた本調査のための準備をします。	配付資料演習課題・レポート
第17週：本調査の実施 本調査を実施します。実際は1週では終わらない場合があります。	配付資料演習課題・レポートの提出
第18週：調査結果の分析 調査結果を取りまとめ、分析します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第19週：調査結果の考察 分析結果について考察します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第20週：研究成果の検証 考察により生み出された仮説を、結果に基づいて検証します。	配付資料演習課題・レポートの提出
第21週：図表の作成 これまでの研究成果をまとめるため、図表を作成します。	配付資料演習課題・レポートの提出

第22週：図表の完成 図表を検証し、完成させます。		配付資料演習課題・レポートの提出
第23週：研究論文の執筆 これまでの研究成果をまとめるため、本文を執筆します。		配付資料演習課題・レポートの提出
第24週：研究論文の完成 本文を検証し、完成させます。		配付資料演習課題・レポートの提出
第25週：研究概要の執筆 これまでの研究成果をまとめるため、研究概要を執筆します。		配付資料演習課題・レポートの提出
第26週：研究概要の完成 研究概要を検証し、完成させます。		配付資料演習課題・レポートの提出
第27週：発表会の準備 これまでの研究成果を発表するための準備をします。		配付資料演習課題・レポートの提出
第28週：発表会の練習 パワーポイント等を使用して、発表の練習をします。		配付資料演習課題・レポートの提出
第29週：発表会 これまでの研究成果を発表します。		配付資料演習課題・レポートの提出
第30週：反省会・将来の展望 1年間の取り組みを総括し、今後の課題と問題点を明らかにします。		配付資料演習課題・レポートの提出
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー III：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	①自分の専門分野を持ち、問題意識と探究心を抱くことができる。
【知識・理解】	②各専門分野における主な既往の研究について把握している。
【技能・表現・コミュニケーション】	③研究成果を、第三者に対し分かりやすく発表することができる。
【思考・判断・創造】	④研究の目的に即した調査方法と分析方法を自ら学び、最終的に研究をまとめ上げることができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	

【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		15点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点	20点
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		10点	5点

(「人間力」について)

※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	<p>原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p style="text-align: right;">[S]</p> <p>[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>
発表・その他 (無形成果)	<p>研究ゼミナールにおいて、プレゼンテーションおよびコミュニケーションの能力は重要です。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>